



富士市立中央病院

開設者／富士市
所在地／〒417-8567 富士市高島町50番地
URL／<http://byoin.city.fuji.shizuoka.jp/>



病床数 520床

医師数 115名

指導医数 22名

入院患者／日 395.6名

外来患者／日 868.5名

救急医療／日 25.9名



病院事業管理者
児島 章



研修風景



【病院理念】

富士市立中央病院は、地域の基幹病院として、市民の皆様により良い医療をやすく安全に提供し、常に医療の向上に努めます。

【特色】

1. 地域唯一の急性期基幹病院として最新高度医療機器を整備し研鑽された高次医療サービスを提供しています。
2. 365日24時間二次救急医療を実施し、救急当直医としては常時4名の医師(内科、外科、循環器内科・心臓血管外科、小児科)を配置し、各科専門医が直ちに登院できる体制をとっています。さらに2024年度から非常勤で救急専門医を配置し、救急医療体制を強化しています。
3. 患者の権利や意思、尊厳を尊重し、積極的な情報開示に努めています。
4. 医師をはじめとして看護師、医療技術職、事務職も含め、職員全体でチーム医療を支えており、委員会や研修などそれぞれの領域での活発な活動により、より高度で良質な医療を提供し、富士地域で診療が完結できるような病院づくりを目指しています。

診療科目

糖尿病・内分泌内科、血液内科、呼吸器内科、腎臓内科、消化器内科、脳神経内科、リウマチ膠原病内科、精神科、循環器内科、心臓血管外科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線画像診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、歯科口腔外科、リハビリテーション科

処遇

身分	富士市会計年度任用職員			
給与	1年次基本給／月	500,000円	2年次基本給／月	520,000円
	1年次賞与／年	790,000円	2年次賞与／年	1,200,000円
	諸手当	当直手当、住居手当、通勤手当、時間外手当		
	1年次基準支給額／年	7,500,000円程度	2年次基準支給額／年	8,000,000円程度
宿舎	病院借上民間住宅		当直有(研修当直)	
保険	有(医師賠償責任保険の個人加入は任意)			

臨床研修医(初期研修医)の研修プログラム

- プログラム名 富士市立中央病院臨床研修プログラム
- 募集定員 6名(予定)(令和7年度採用数6名)
- 協力型病院 鷹岡病院(精神科)、静岡県立静岡がんセンター(感染症内科)、湖山リハビリテーション病院(リハビリテーション科)
- 協力施設 (地域医療)川村病院、小松クリニック、トータルファミリーケア北西医院、富士整形外科病院、中島産婦人科医院、富士在宅診療所
(保健医療行政)富士保健所

プログラムの特色

1. 1年次当初にオリエンテーションとして医療安全管理体制、院内規定、施設設備の概要と利用法、文献と病歴検索法、健康保険制度、医事法規、看護業務、厚生制度等一連のレクチャーを受講する。
2. 必修科目として内科(6か月)、外科(2か月)、産婦人科(1か月)、小児科(1か月)、精神科(1か月)、救急科部門(3か月・うち麻酔科1か月)とする。
3. 原則として救急医療は、救急対応の頻度が多い内科、循環器科、外科、小児科、産婦人科のいずれかに籍を置き、日中の救急及び当直研修は指導医の指導とともに行う。
4. 外来研修は内科、外科、小児科、地域医療において行う。
5. 麻酔科における研修期間は原則1か月上限とし、救急の研修期間とすることができる。
6. 地域医療、精神科は原則として2年目にローテーションする。
7. 選択期間については、必修科目に加え、心臓血管外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線画像診断科、放射線治療科、病理診断科の各科目及び保健・医療行政のいずれかを選択することができる。
8. 選択科目の研修期間及び研修科目は1か月単位で9科目まで選択することができる。
9. 地域医療の分野を選択する場合原則として2か月以内、保健・医療行政の分野を選択する場合は1か月までとする。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1年次スケジュール	内科 (内科系7診療科より)						外科	小児科	産婦人科	救急部門 (麻酔科1か月可)		
2年次スケジュール	救急部門	地域医療	精神科	選択科目								

病院からのメッセージ

2023年当院に人材育成センターが発足し、初期臨床研修医の募集・採用、研修プログラムの策定・評価や修了認定など研修全般の運営、さらに研修医の精神的支援など、研修プログラムの円滑な実施のため、院内診療科や地域の協力病院と連携して活動しています。

さて、当院は富士地域の基幹病院として二次救急を担う急性期の病院であり、診療科も症例数も豊富です。医師は大学病院から派遣される経験豊富な指導医、専門医が揃っており、専攻医も数多く在籍するため、互いに研鑽しながら、充実した研修生活を送っていただけます。

また、臨床研修医室は研修医同士の情報交換の場となっています。病院見学の学生もこの部屋で研修の様子などを尋ねるのが楽しみのなっています。

なお、センター発足に伴い、教育体制も以下のように整備されました

- 2025年度より静岡県立静岡がんセンター 感染症内科での研修が可能になります。
- 人材育成センターが提供する勉強会は、スキルアップ勉強会(月1回)、症例検討会(月に1回)、救急医学セミナー(2か月に1回)、院内CPC(原則年4回)、JMECC(臨床研修2年目以降の希望者)、JPTEC(希望者)、ICLS(希望者)となっています。
- 臨床現場において救急専門医(救急医学セミナー講師)からの指導を受ける機会があります。
- 1年目、2年目の臨床研修のアウトカムは基本的な能力評価試験(GM-ITE)で自己評価できます(開催日程・会場は人材育成センターが用意します)。

応募手続	応募資格	第121回医師国家試験(2027年実施)を受験する者でマッチングシステムに参加する者			
	必要書類	臨床研修申込書(所定様式)、卒業(見込)証明書、成績証明書、健康診断書、CBT証明書の写し			
	募集締切	2026年8月中旬予定			
	選考方法	書類選考、面接			
	選考時期	2026年8～9月初旬予定			
	応募連絡先	担当課	臨床研修センター(人材育成センター)	担当者	笠井、山崎、町田
TEL		0545-52-1131 内線2965	FAX	0545-51-7077	
E-mail		ch-jinzai@div.city.fuji.shizuoka.jp			